

2026年度 和歌山市立福島小学校 スクールプラン(学校運営計画書)

校長名 嶋田 暢也

作成日 2026年 4月27日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

【学 校 教 育 目 標】

徳育・体育・知育の調和がとれ、豊かな感性と正しくたくましく生きぬく力をもった子どもを育てる。

【めざす子ども像】

- ・豊かな心情をもち、励まし合う子ども
- ・進んで心身をきたえるたくましい子ども
- ・勤労と責任を重んじ、実行する子ども
- ・よく考え、主体的に学習する子ども
- ・**意義を見出す前向きな子ども**

前年度の学校評価

- 地域や保護者への情報発信をこまめに行うことができた。
- 全教員が授業研究に取り組み、授業力の向上を図ることが出来た。

児童の実態

- 明るく素直である。
- 活動的である。
- 与えられた課題に対してまじめに取り組む。
- 相手の意見をしっかりと聴き、そこから自分の考えを深める力に課題がある。

保護者・地域の願い

- 学力を身につけてほしい。
- 人の気持ちがわかる子どもに育ってほしい。
- 明るく楽しい学校にしたい。
- 困難を乗り越え、生き抜く力を持った子どもに育ってほしい。

重点目標

確かな学力の向上

- 言語活動・主体的な学習の充実
- 授業研究の充実
- 基礎学力の定着
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

豊かな心の育成

- 道徳・人権教育の推進
- 望ましい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度の育成
- いじめの未然防止、早期発見

健やかな体の育成

- 体力向上の推進
- 基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- 家庭・地域との連携充実
- 地域の資源活用の推進
- 保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進

具体的な取組

・学習活動全般に渡って、**聴く力を高め、自他共に考えを深めることを意識し**、ともに学び合う機会を多く取り入れる。低・中学年では**聴くことに重点を置き**、高学年では、児童の言葉を教師が表現を補いながら、より簡潔にわかりやすくフィードバックすることで、各自の理解や考えが深まるよう働きかけ、人の意見をしっかりと聴こうとする意識を高める。

・算数を研究の核に据え、**授業力向上に向け研究授業を行うようにする**。協議では言語活動の充実に加え、**聴く力を育てる上で有効な教材、授業構成等に焦点を当てて進めていく**。

・家庭と連携しながら家庭学習の定着を図る。

・読書環境を整え「読書タイム」や「うちどく」の取組を通じて読書習慣の定着を図る。

・「道徳」の時間をはじめ、全教育活動を通じて道徳教育・人権教育を進める。

・相手を思いやり受け入れ、前向きな発言を心がけるよう指導を行っていく。

・研修を充実させ、**特別活動の意義の理解を深めた上で**、縦割り活動等、異年齢で活動する機会を多く取り入れる。

・「福島のきまり」等について全教職員で共通理解を図り、全員が同じ指導を行う。また、保護者へも指導内容を知らせ、家庭と連携を図り指導を行っていく。

・「いじめアンケート」を年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。

・体育科の授業の充実を図り、子どもの運動能力・体力の向上に努める。

・外遊びの推奨や校内縄跳び大会等の開催を通じて体力の向上を図る。

・「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する。スマホ、ゲーム使用について、保護者と連携しながら危機管理の向上に努める。

・「避難訓練」や「交通安全教室」を計画的に行い、危機回避能力を育成する。

・給食後の歯みがきを推進する。

・学校だより、学級だより、HP等様々な手段で、学校の教育活動や児童の様子を保護者や地域の方々に情報発信していく。

・祭りや集会等を通じて地域の方々との交流を図る。また地域で行われる行事等にも積極的に参加し、交流を図る。

・ゲストティーチャー、図書ボランティア等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する。

・保幼小の接続、中学校区での小小、小中の連携を推進・充実する。

指標

・県学習到達度調査で正答数が県平均を上回る。

・学校評価アンケート「わたしは毎日の勉強がわかる」「わたしは人の意見をしっかりと聴いている」で「そう思う(わかる)」が児童90%以上を達成する。

・「わたしは学校が楽しい」「わたしは人の役に立とうとしている」「わたしは前向きな言葉を言うように心がけている」で「そう思う(楽しい)」が児童90%以上を達成する。

・「今、休憩時間は外で元気に遊んでいる」で「あてはまる」が児童90%以上を達成する。

・「学校は、学校の教育目標や子どもの様子を保護者にわかりやすく伝えている」で「とてもそう思う」「どちらかといえばそう思う」併せて保護者90%以上を達成する。

◎：特に重点的に取り組むこと